



高橋 ひでのり

無所属
市民派

プロフィール

1957年出生 1984年京都大学経済学部を卒業し、神戸市役所に就職。生活保護・国民年金・国民健康保険業務に従事。勤務と並行して平和・脱原発・差別撤廃の市民運動に参加。2017年3月に59歳で退職。趣味は音楽（ゴスペル）と野球。



ケースワーカーだったころの高橋ひでのり

高橋ひでのりは、神戸市職員として阪神大震災を経験しました。その経験が、神戸市政を変えたという高橋ひでのりの原点です。
生活保護ケースワーカーとして、被災した市民の生活再建に寄り添っていたときに「避難所で暮らす被災者の生活保護申請

原点は阪神大震災後の業務

請を認めない」という神戸市の方針とぶつかりました。明らかに人権侵害です。国会でも問題になりました。当事者とともに裁判覚悟の生活保護要求運動に取り組み、震災後1年でやっと保護申請を認めさせることができました。

大事なことはみんなで決めよう

有権者の3割を超える署名を集めた「神戸空港は住民投票で決めよう」という市民運動にも参加しました。神戸市職労（ヤミ専従問題で当局との癒着が明らかになりました）にいらまれても、職場・地域で取り組みました。しかし、神戸市当局も神戸市議会も署名を無視して、空港建設を強行。

問題は空港の是非にとどまりません。「大事なことはみんなで決めよう」という住民自治の芽を生かすことが、民主主義です。人権や民主主義を守るために、高橋ひでのりはここにたたかっています。



大規模な三宮再開発より、くらしと子育てに支援を

現在もなお「開発優先」「官僚主導」の神戸市政が続いています。過去の開発の借金払いが財政を圧迫しているにもかかわらず、数千億の費用が見込まれる三宮再整備を行おうとしているからです。しかし垂水区では、子育て世代の方たちが「子育てしやすいから」という理由で周辺の都市に引越す例が後を絶ちません。「都市間競争に勝つための三宮再整備」と神戸市当局は強調しますが、くらしや子育ての支援を充実させて人口の流出を食い止めることが先でしょう。

4月7日の投票日には「高橋ひでのり」に1票を

市民の目線で市政をチェック! 無所属市民派



高橋ひでのり

たとえば子どもが学校に通えなくなった時、「フリースクールが少なくて入れない」「月謝が払えない」といった理由で学びの場を保障できない現実があります。高橋ひでのりは、フリースクールなど多様な教育機会への国や神戸市の公的な支援を求めます。



その子にあった教育の場が普通の学校とは限らない。フリースクールでどんどん伸びる子どももいる。大人がネットワークをつくって、子どもが学べる場所へ連れていくこともグッド・アイデア。すべての子どもが伸びるためには、多様な教育の場に公的支援が必要。
(2.17「もっとステキな神戸をつくる集い」での紙芝居「子どもがいるから見えてきた」より)

高橋ひでのり選挙事務所
電話 090-6377-2707

HPは
【神戸 高橋ひでのり】
で検索



●「家族からの甘辛コメント」
妻から
会報ですつと「二人ひとりが大切」と訴えてきました。家でもその考えを貫いています。とにかく人の話に耳を傾ける人。言動が外と内では変わらないことは四六時中見ている私が保証します。あえてお願いごとをするなら「お皿洗いだけじゃなく、たまには料理もしてね〜」
●独立した息子と娘から
まだ子どもだった僕らにはこはんを作れるようにと料理教室に通っていたね。感謝してます。
オヤジ、がんばれ。



塩屋では風変りな階段もうまく使いこなされている。面白いもの、味わい深いものがあなたの町にもあるのでは？そこにはかない雰囲気大切にしたいまちづくりを。

高橋ひでのりが住む塩屋には、「海も山もある塩屋の景色は最高！」といつて安い古家を購入し、再生させて住む方が増えています。今ある住宅や自然の価値を見出して、みんなでさらに手を加えて改善していく、そんな若者も参加して空き家空地再生プロジェクトも始まっています。住民自身が進めるまちづくりこそ、もっと神戸市の支援を充実させたい。

4月7日の投票日には
「高橋ひでのり」に1票を



●慣れるのに5年かかったけど、ヒデさん、めっちゃええ人や。肩の上で寝かせてくれるし。
カルーア



●一日2回散歩に連れて行ってくれてサンキュー！ 小梅

無所属市民派 高橋ひでのり

事務所 〒655-0872 / 神戸市垂水区塩屋町3-9-23
電話：090-6377-2707 FAX：078-778-5823
takahashi.tarumiku@gmail.com